

英 語	
1	この教科のねらい
	英語における4領域の言語活動（聞くこと・読むこと・話すこと（やり取り・発表）・書くこと）を通して、英語を用いたコミュニケーションを図る能力と態度を養います。また、教科書の題材を利用して、異文化理解、人権感覚の向上、環境問題等への意識の啓発にも力を入れています。
2	科目の紹介と学習内容
	「英語コミュニケーションⅠ」 ・ 1年次に全員が週3時間学習します。中学校での学習を踏まえ、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする基礎的な能力を養うことを目標としています。特に音声面での指導に重点を置き、英語がきちんと発音できることを目指しています。 「英語コミュニケーションⅡ」 ・ ビジネス・総合コースで2・3年次に週2時間、SSコースで2年次に週4時間、全員が学習する科目です。「英語コミュニケーションⅠ」で学習した内容を踏まえ、更に発展的な内容を段階的に加えていきますが、生徒のニーズに応じて基礎基本の徹底が継続的に行われます。 「英語コミュニケーションⅢ」 ・ SSコースで3年次に週3時間学習します。「英語コミュニケーションⅡ」で学習した内容を踏まえ、情報や考えなどを的確に理解したり、適切に伝えたりする能力を更にのばし、実際の社会生活において活用できる英語の能力を身に付けることを目標とします。 「論理・表現Ⅰ」 ・ 2年次に総合・SSコースで週2時間学習します。積極的にコミュニケーションを図ろうとすることを目的とし、表現方法の工夫の仕方を学びます。 「論理・表現Ⅱ」 ・ 3年次に総合・SSコース(総合・SS共に選択)で週2時間学習します。「論理・表現Ⅰ」の内容を発展させた、より実践的な表現活動を行います。 「英語探究」 ・ 3年次に総合・SSコース(総合・SS共に選択)で週2時間学習します。ニュースや新聞記事などに触れ、学習した語彙や表現で意見を発表したり文章を書いたりします。
3	授業の特色
	基礎基本を徹底して学習することで必要な語彙や文法事項の習得を目指しています。特に、英語を正しく発音できる力を育成するために音読指導に重点を置いています。また、ICT機器を利用して、生徒の関心を高める努力をしています。
4	勉強方法
	授業中の音読や聞き取りの活動を積極的に行うことが最も大切です。英語がきちんと発音できて聞き取れるようになれば英語の学習が楽しくなります。そうなれば単語を覚えたり文法事項を理解したりするのも楽になります。また、言語の習得には継続的な学習が必要です。家庭での学習を定着させることも大切になります。
5	評価の観点
	【知識・技能】 定期考査、課題テスト、スピーキング、ライティング 【思考・判断・表現】 授業中の発言、スピーキング、ディスカッション、ディベート、ライティング 【主体的に学習に向かう態度】 授業中の発言、定期考査、課題テスト、授業内でのスピーキング、ディスカッション、ライティングなどの自己評価及び相互評価

